

ソーシャルワーク論

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》志水 幸 (koh@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

この講義では、ソーシャルワークの基盤と専門職としてのあり方について概説する。

【学修目標】

この講義の目的・ねらいは、以下のとおりである。

社会福祉士（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）・介護福祉士・精神保健福祉士の意義と役割について理解する。

相談援助の概念と範囲について理解する。

相談援助の理念について理解する。

相談援助における権利擁護の意義と範囲について概説できる。

相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について概説できる。

総合かつ包括的な援助と多職種連携に意義と内容について概説できる。

また、この講義の到達目標は、以下のとおりである。

社会福祉専門職の意義と役割について具体的に説明できる。

相談援助の概念と範囲、理念について具体的に考えることができる。

権利擁護の意義と範囲について具体的な問題点を列挙し説明ができる。

専門職倫理にもとづく判断や行動のありかたについて説明ができる。

包括的援助のための多職種連携について具体的に説明ができる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。